

様式第 1 (20)

海域公園地区内物の係留許可申請書

自然公園法第22条第3項の規定により 公園の海域公園地区内における物の係留の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年 月 日

申請者の住所及び氏名(記名押印又は署名)

〔法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名(記名押印又は代表者の署名)〕

長崎県知事 様

目	的	
場	所	
行為地及びその 付近の状況		
物の種類		
施 行 方 法	占用する海面の積	
	係留設備	
	係留方法	
予定日	着手	年 月 日
	完了	年 月 日
備	考	

(備考)

1 添付図面

- (1) 行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000以上の地形図
- (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺1:5,000以上の概況図及び天然色写真
- (3) 行為の施行方法を明らかにした縮尺1:1,000以上の平面図、立面図及び断面図
- (4) その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

2 注意

- (1) 申請文の「公園」の箇所には当該国立・国定公園の名称を記入すること。
なお、不要の文字は抹消すること。
- (2) 「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番(地先)等を記入すること。
- (3) 「行為地及びその付近の状況」欄には、海底の形状、着生する動植物、水深(干満)、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (4) 「備考」欄には、次の事項を記入すること。
 - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況
 - イ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み
 - ウ 過去に自然公園法の許可を受けたものにあつては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件
- (5) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。